



本物力こそ桑名力

市長定例記者会見

令和4年7月4日

桑名市



本物力こそ桑名力

デジタルトランスフォーメーションの推進

～デジタルファースト宣言企画第13弾～

案内業務のDX

～遠隔操作ロボット実証実験～

1.案内業務のDX

コラボ・ラボ桑名

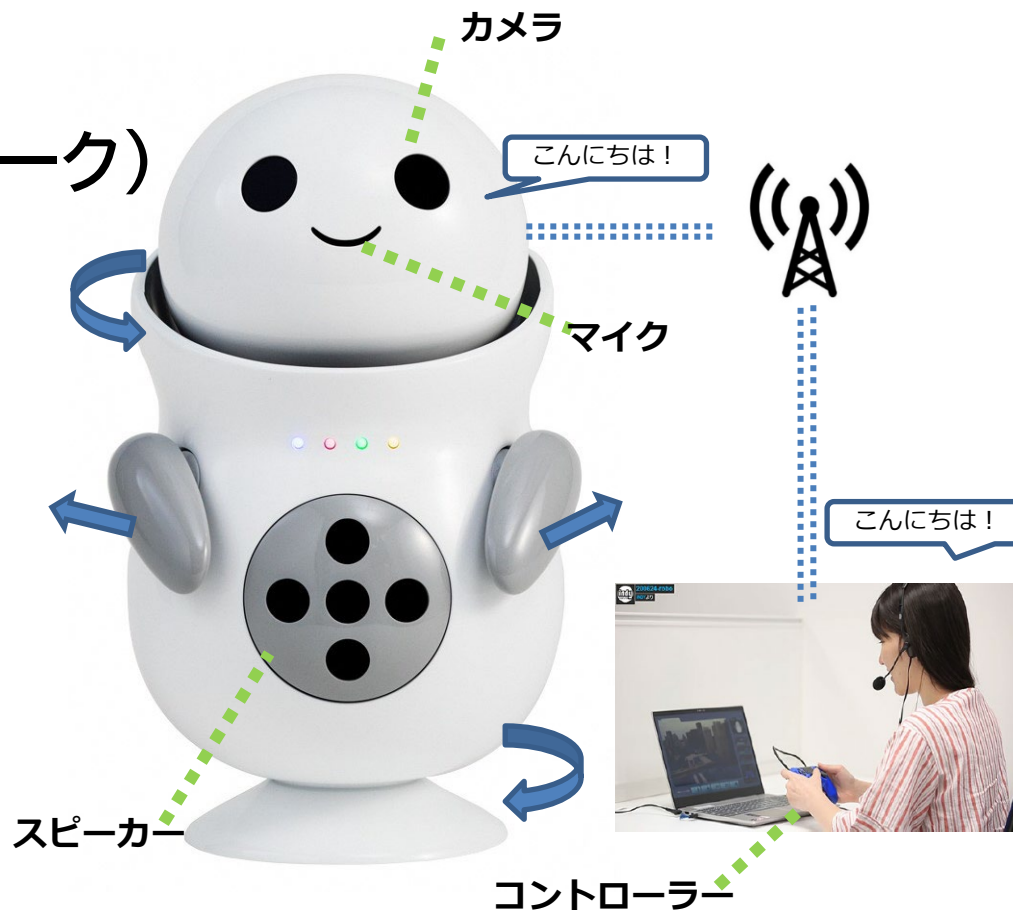
株式会社インディ・アソシエイツ

➤遠隔操作ロボット

miniMORK (ミニモーク)

- ・内蔵されたカメラ・マイク・スピーカーを通して、「見る」「聞く」「話す」
- ・コントローラーで、頭・両腕・足元を動かすことができる

身長:46cm
体重: 5kg



➤ 目的 ～案内業務のDX～

- ・窓口で遠隔操作ロボットを設置して、「職員が利用者(来庁者)を適切に案内できるか」「利用者に受け入れてもらえるか」など、窓口でのロボット活用を検証する

➤ 期待される効果

- ・執務室など離れた場所からの案内による業務の効率化
- ・複数の窓口と接続することで、ワンストップ化
- ・テレワーク職員の活用
- ・非接触での対応

3.取り組み

➤ ① 総合窓口 受付・案内

職員が離れた場所からロボットを操作し、来庁された方の用件をお聞きして案内します

場所:本庁舎1階「ふれあい案内窓口」

期間:7月5日(火)~7月22日(金)



ふれあい案内窓口

➤ ② イベント受付

「スマートフォン教室」に参加される方をお迎えし、参加者の受付を行います

場所:六華苑

期間:7月27日(水)



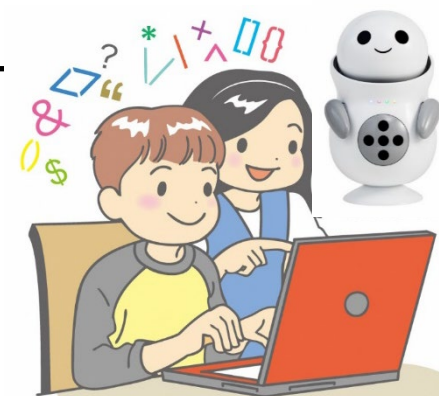
六華苑

➤ ③ 操作体験

「子どもプログラミング教室」に参加される親子をお迎えし、終了後にロボット操作を体験します

場所:本庁舎5階 中会議室

期間:8月15日(月)



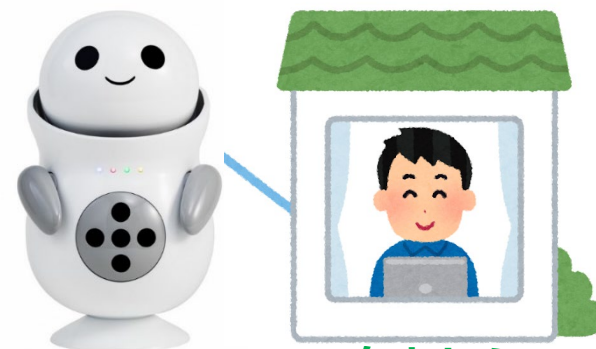
プログラミング教室

➤ ④ テレワークの活用

テレワーク実施中の職員が、ロボットを操作して各種問合せに対応します

場所:本庁舎4階 デジタル推進課窓口

期間:8月1日(月)~5日(金)



自宅から

県内初！



本物力こそ桑名力

デジタルトランスフォーメーションの推進 ～デジタルファースト宣言企画第13弾～

公立幼稚園の新入園児の LINE申請が可能に！

■ オンライン化の推進

社会情勢の変化に対応した非来庁型の推進
電子申請による手続きの簡素化・迅速化

■ 目的

感染拡大の防止、利便性の向上、子育て世帯の負担軽減など
市民満足度の向上を図る
事務効率化

【導入実績】

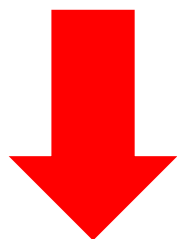
※令和2年9月 令和3年度保育施設入所(園)申込分から

令和4年度 LINE申請利用率 約40%(224件/全559件中)

■これまでの申請方法

- 提出書類を郵送で保育支援室に送付
- 市役所に来庁して提出書類を提出

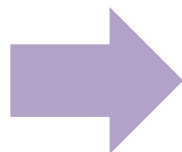
郵送費用が必要、市役所の開庁時間しか申請ができない、窓口が混み合って時間がかかる など利用者にとって不便なことがあった



■LINEで申請が可能に！

★市LINE公式アカウントのメニューから提出書類を写真で提出

- 24時間申請が可能！
- 窓口で待つ必要なし！



デジタル化で利便性が向上

○もちろん、これまでの申請方法でも提出は可能



■ 令和5年度公立幼稚園「新入園児募集」について

○対象

4歳児:平成30年4月2日～平成31年4月1日生まれ

5歳児:平成29年4月2日～平成30年4月1日生まれ

○定員

各園によって異なりますので、市ホームページ、または募集要項でご確認ください。募集要項は、**7月25日から**各公立幼稚園、保育支援室、各地区市民センター、サテライトオフィスで配布

○料金

利用者負担額(保育料)は無償

給食費、教材費、PTA会費などは別途必要です。

○募集期間

令和4年8月15日(月)～8月31日(水)(土・日・祝日除く)

公立幼稚園定員一覧



本物力こそ桑名力

園名	定員	4歳児		5歳児		所在地
		内訳数	受入可能最大数	内訳数	受入可能最大数	
陽和(旧立教)	55	25	30	30	35	吉之丸10
光風(旧修徳)	55	25	30	30	35	東方302-5
成徳(旧大成)	60	25	30	35	35	東方2157
明正(旧在良)	60	25	30	35	35	蓮華寺129-2
正和北(旧七和)※	50	5歳児のみ募集		50	50	芳ヶ崎1232-2
正和南(旧久米)※	25			25	25	志知3846-1
成徳北(旧深谷)※	30			30	30	下深谷部3683-1
光陵(旧大山田北)	120	50	60	70	70	大山田六丁目8
陵成(旧藤が丘)	65	30	30	35	35	藤が丘六丁目109-2
多度 ※	30	5歳児のみ募集		30	30	多度町北猪飼299-1
長島	110	55	60	55	70	長島町源部外面215
計	660	235	—	425	—	

※印は、現在休園中の公立幼稚園

①各園の定員は、受け入れ可能な数

②「内訳数」は受入が確実な数、「受入可能最大数」は他年齢児の申込が「内訳数」に満たない場合の受入可能な最大数

自治体初！



本物力こそ桑名力

デジタルトランスフォーメーションの推進
～デジタルファースト宣言企画第13弾～

Adecco Academy

人財躍動化プログラム実施



Society 5.0 地方創生VI

Society5.0 実現に向けた包括連携協定

アデコグループが有する人的資源やソリューション、地方自治体における事業推進の豊富な経験を活かし、桑名市におけるDX推進の担い手となる人財の育成や、オープンイノベーション等を推進するため、令和3年5月24日に包括連携協定を締結。



調印式の様子：右から三重県桑名市／伊藤市長、アデコグループ代表／川崎、ボノ（株）取締役／谷津氏

協定締結者

桑名市

（桑名市長 伊藤徳宇）

アデコ株式会社

（代表取締役社長 川崎 健一郎）

モディス株式会社

（代表取締役社長 川崎 健一郎）

ボノ株式会社

（代表取締役 横山貴敏）

新たな人財育成 『躍動化』



本物力こそ桑名力

SDGs、VUCAの時代は、さらなるテクノロジーの発展やグローバル化により、先の読めない世界になる。これまでの「あたりまえ」が通用しない中、答えのない問いに対して自発的に挑み、『解』を生み出せる『躍動人財』が求められる。



一人ひとりの内発的動機を引き起こし、多角的な視点から**ビジョン**の発見・定義を行う。そして、自身が描く生き方・キャリアの実現に必要な**スキル**を明確化することで、社会の『適所』で躍動できるようになる。

双方の目的と躍動を実現する取り組み

アデコグループが民間企業向けに展開する人財躍動化プログラムを、初めて自治体で活用する取り組み。スキルの向上だけでなく、これからの時代を見据えた能力開発を行い、日々変化する社会に適応するとともに、社会を変えられる人財育成を目的とする。



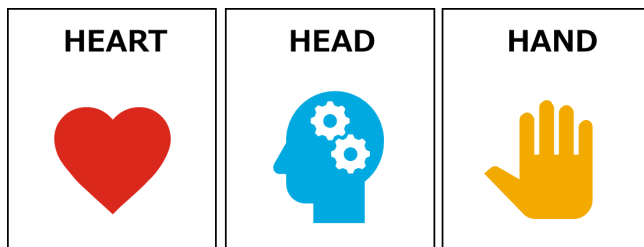
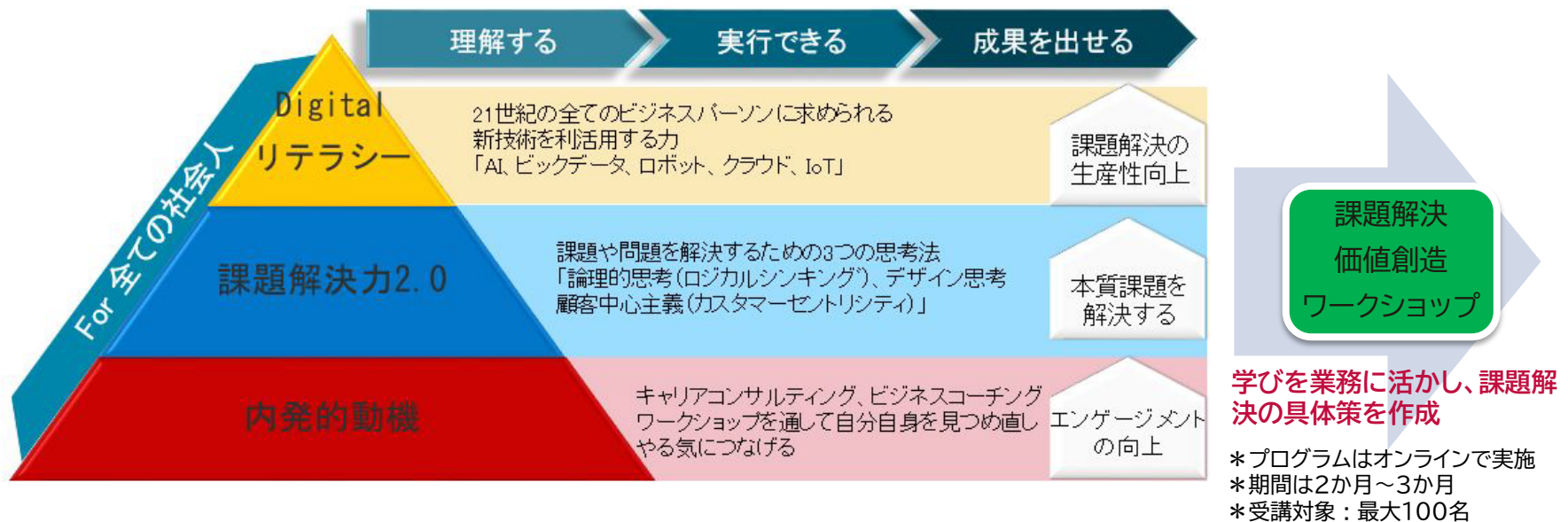
- 自律的に課題解決に取り組み、クリエイティブに仕事をするための能力向上を図る。
- デジタルの活用や恩恵を知ること、課題解決への新たな発想力を身に付ける。
- 自身のキャリアを見つめ直し、よりよい働き方を考えるきっかけづくりとする。

人財躍動化に向けたスキリングプログラム / 3 Skills



本物力こそ桑名力

ビジネススキルを学ぶ動機を高め、論理的思考とデザイン思考、ITリテラシーのe-learningを経て、業務課題解決と目標達成に向けた実行プランをワークショップで導くプログラム。



なぜ働くのか、何を解決するのか、そしてどう解決するのかを、自ら考えて行動できるようになるための「3 Skills」(内発的動機、課題解決力2.0、Digitalリテラシー)を習得するプログラム。

市による相談窓口の開設等は

県内市町初!



本物力こそ桑名力

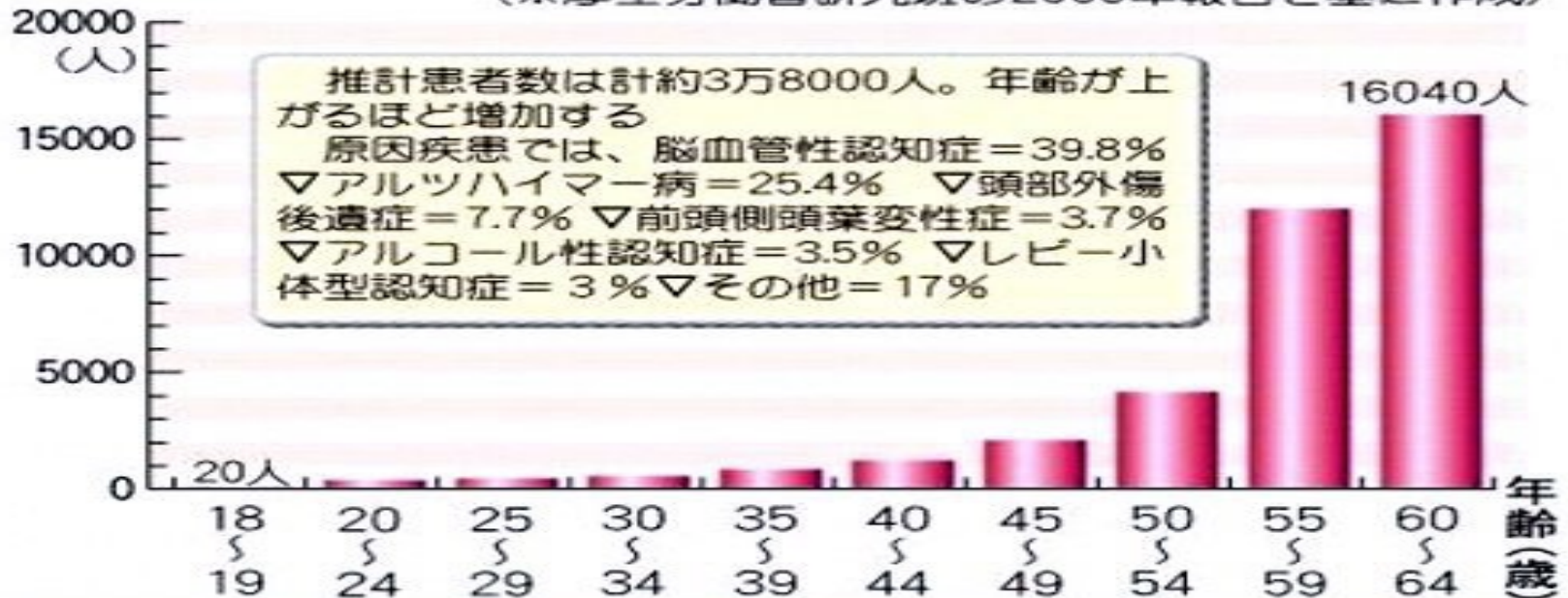
若年性認知症支援推進事業

若年性認知症を取り巻く現状

◆「若年性認知症の推定患者数」◆

若年性認知症の推定患者数

(※厚生労働省研究班の2009年報告を基に作成)



「若年性認知症」とは、64歳以下で発症する認知症の総称

○日本で若年性認知症の推定患者数は 約 38,000人

○桑名市介護保険2号認定者(65歳未満) のうち初老期における認知症 22名 (R4.3月末)

◆ 若年性認知症への理解 ◆

○推定発症年齢の平均は **51.3歳**
(男性51.1歳、女性51.6歳)

☆若年性認知症は働き盛りの年代で発症。
本人や家族、職場に様々な問題が生じます。

- 若年性認知症の方は、その家族も就労、学生が多く、介護者である家族の負担が大きい。
- 経済的な面も含めて本人とその家族の生活が困難となることもある。
- 本人、その家族の戸惑い、心理的不安の増大がある。

桑名市若年性認知症支援推進事業を公募にて株式会社ふるさとを選定し業務委託

① 相談窓口「すまいる 😊」の設置

相談日 : 月・水・金 8:30~12:30

相談方法: 訪問・電話などによる個別相談

② 通いの場(本人・家族)の設置

開設日: 本人向け 月・水・金 9:30~12:00

家族向け 偶数月 10:00~11:30

桑名市若年性認知症支援推進事業を公募にて株式会社ふるさとを選定し業務委託

③ 多機関との連携・ネットワークの構築

- ・若年性認知症等の方に対し、地域包括支援センターをはじめとした多機関との連携
- ・多機関との連携・協働により、本人の状態に合わせた適切な支援を行うための基盤の構築

④ 研修・講演会等

- ・若年性認知症等の当事者による本人発信、若年性認知症等について、地域住民・企業・医療機関等への理解を深める研修会または講演会を実施。



本物力こそ桑名力

高校生が選挙啓発をサポート！ Goto Vote！選挙にいきましょう！



桑名市(桑名市選挙管理委員会)

市内高校に通う学生さんが
桑名駅自由通路で選挙啓発！



- ①啓発品(Goto Vote！マスクケース)を配布
- ②啓発品(Goto Vote！Tシャツ)を着用
- ③若い世代の選挙への関心を深め、選挙投票を促進

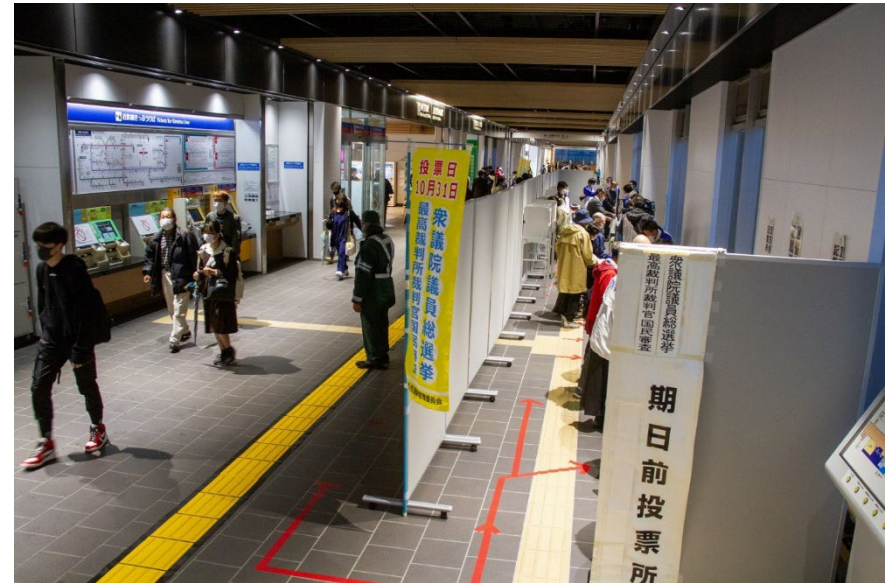
7月10日(日)は、参議院議員通常選挙です。

Goto Vote！選挙にいきましょう！

と き：7月4日(月)・6日(水)
17時～18時

ところ：桑名駅 自由通路
期日前投票所

活動当日、学生さんへ
取材可能です！



選挙人名簿登録者数

6月21日現在 114,603人

近年選挙の記録

令和元年参議院議員通常選挙

当日有権者数	115,467人
投票者数	59,443人
投票率	51.48%

令和3年衆議院議員総選挙

当日有権者数	114,595人
投票者数	63,216人
投票率	55.16%

期日前投票の記録

令和3年衆議院議員総選挙(小選挙区)	
桑名市役所	9,172人
多度地区市民センター	2,384人
サンシティ	2,379人
長島地区市民センター	1,981人
桑名駅自由通路	1,750人
JAみえきた長島営農センター	335人
市内高等学校	103人



桑名市選挙管理委員会

・電話:0594-24-1216

・E-mail:somum@city.kuwana.lg.jp

東海3県初！



本物力こそ桑名力

第9弾

桑名市ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組み

カーボンニュートラルな都市ガスの供給について



カーボンニュートラルな都市ガスの供給について



桑名市は、ゼロカーボンシティの実現に向けた取り組みの一つとして、令和4年7月より、市の公共施設に供給している都市ガスをすべて「カーボンニュートラルLNGを原料とする都市ガス」に切り替えます。

- ・ 契約先 東邦ガス株式会社
- ・ 需要場所 市内38の公共施設
- ・ 供給予定量 500,000m³/年
- ・ CO2予定量効果 1,300t/年

あしたがつてきに！



×



本日、14時15分（予定）から、「桑名市と東邦ガス株式会社とのカーボンニュートラルLNGを原料とする都市ガス供給証明書贈呈式」を開催します